



- ・半導体プラズマとプロセスの基礎
- ・電氣的・光学的プラズマ計測技術の基礎と応用
- ・熱プラズマの基礎と応用
- ・先端エッチングプロセスにおける原子層レベル制御技術
- ・機械学習を活用したプラズマプロセスの解析と制御

関根 誠 先生

占部 継一郎 先生

渡邊 隆行 先生

西塚 哲也 先生

鎌滝 晋礼 先生

	人数
総参加人数 (講師の先生方含む)	88

現地開催のみでしたが非常に多くの参加者数となりました。

講師の先生方、ご参加頂きました皆様、幹事の皆様に、心より感謝申し上げます

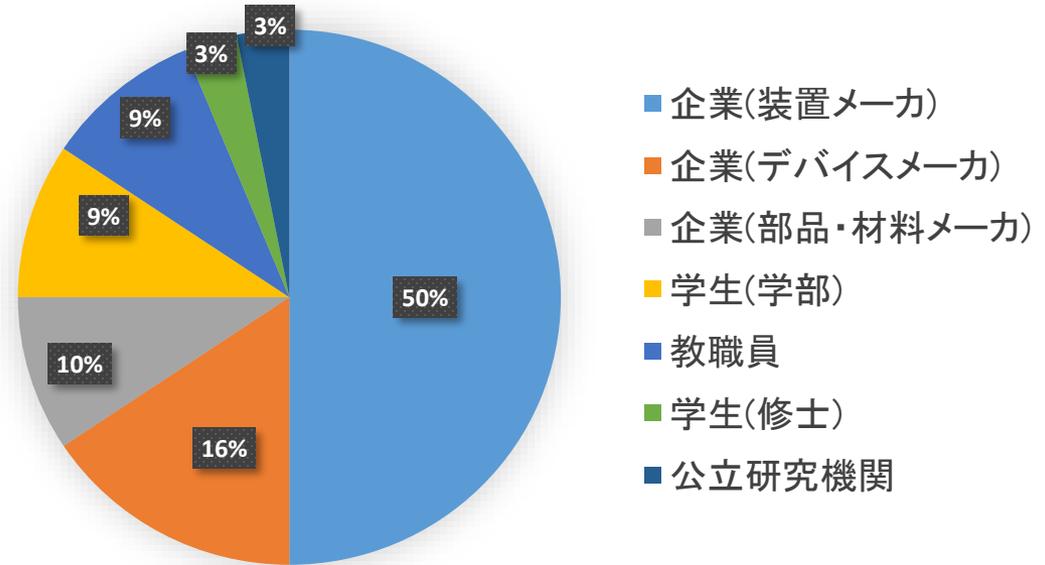
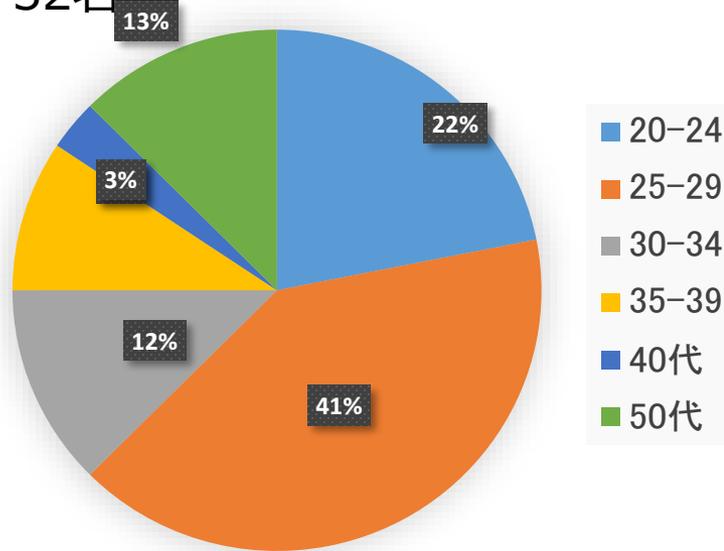
# 第35回プラズマエレクトロニクス講習会 アンケートまとめ

報告者 パナソニックホールディングス株式会社

天野 智貴 (アマノ トモキ)

# 概要

有効回答数  
32名



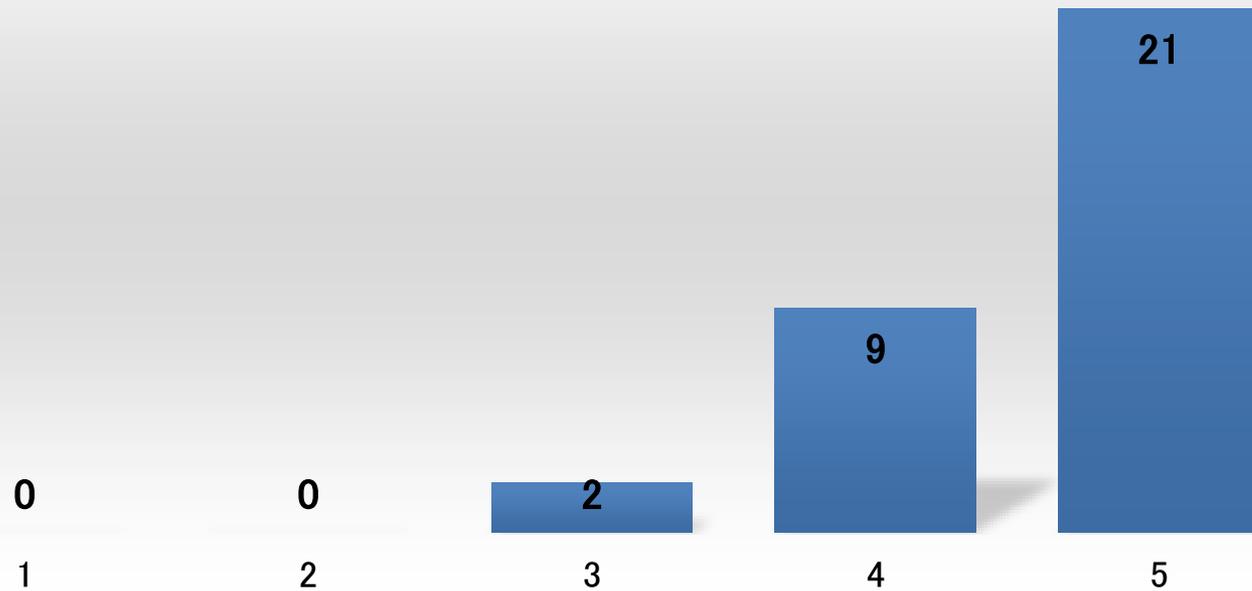
## トピックス

- 参加者の8割以上が40歳未満の若手
- 企業参加者が約7割以上

# 講習会の意義

講習会に参加して有意義であったと思われませんか？

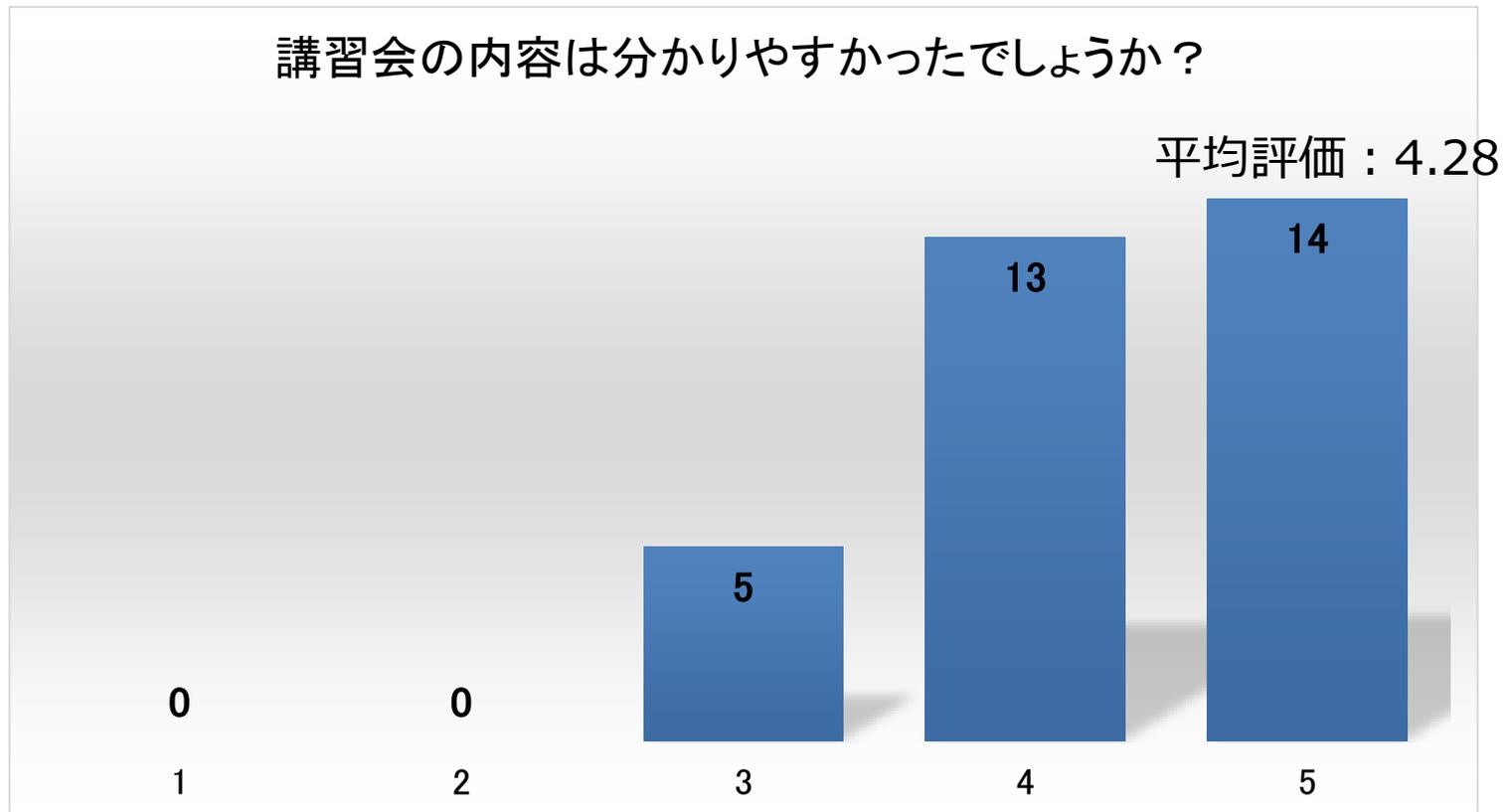
平均評価：4.59



## トピックス

- 回答者の約9割が4以上の高評価
- 多くの受講者にとって、有意義な講習会になった

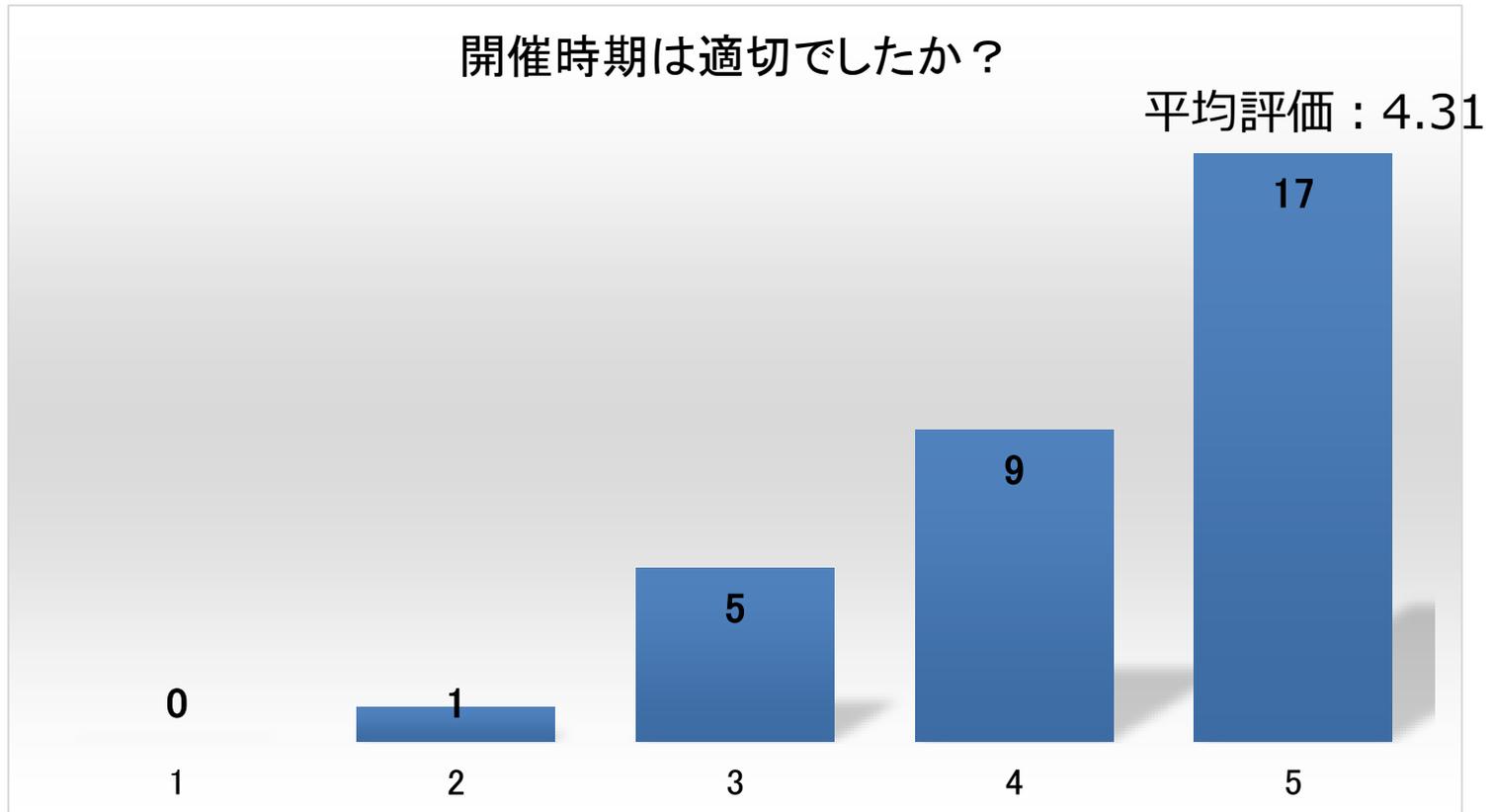
# 講習会内容について



## トピックス

- 回答者全員で3以上の高評価
- バラつきについては受講者のバックグラウンドの差と想定

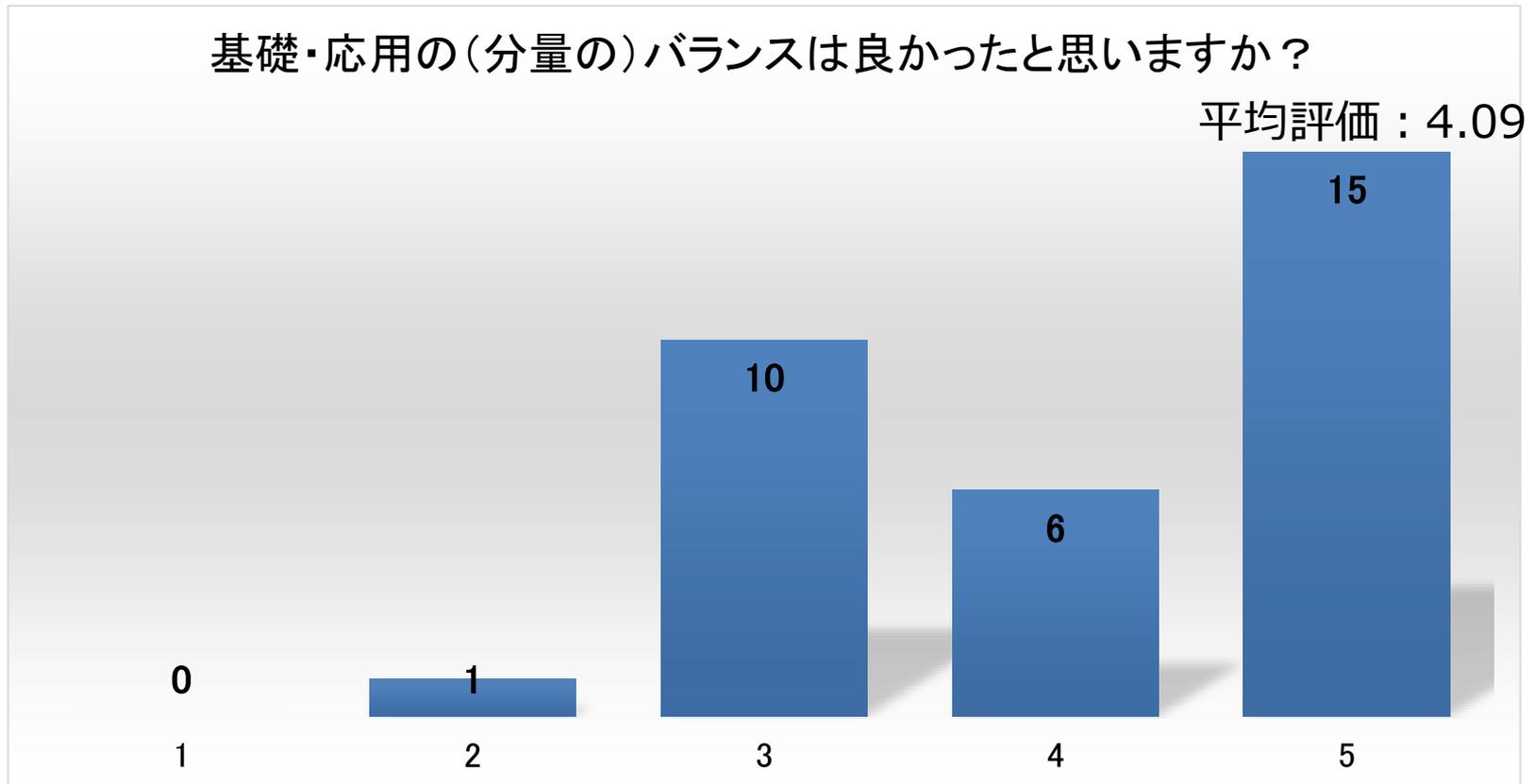
# 開催時期について



## トピックス

- 回答者全員で9割は3以上の高評価
- 結果から、開催時期は適切であったと考えられる

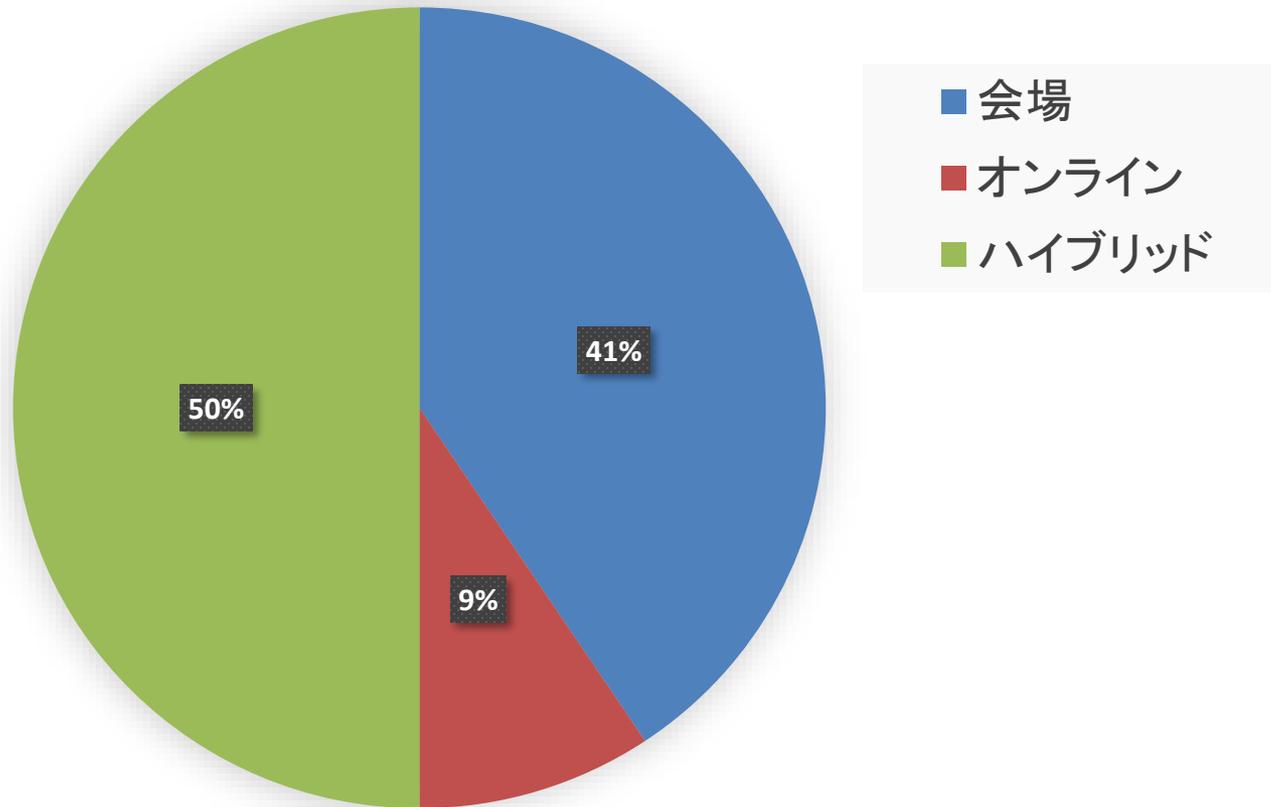
# 講義内容のバランス



## トピックス

- 回答者全員で9割は3以上の高評価
- 結果から、基礎・応用のバランスは適切であったと考えられる
- 2の評価について狭く深い講演を聞きたいという意見

# 今後の開催形式

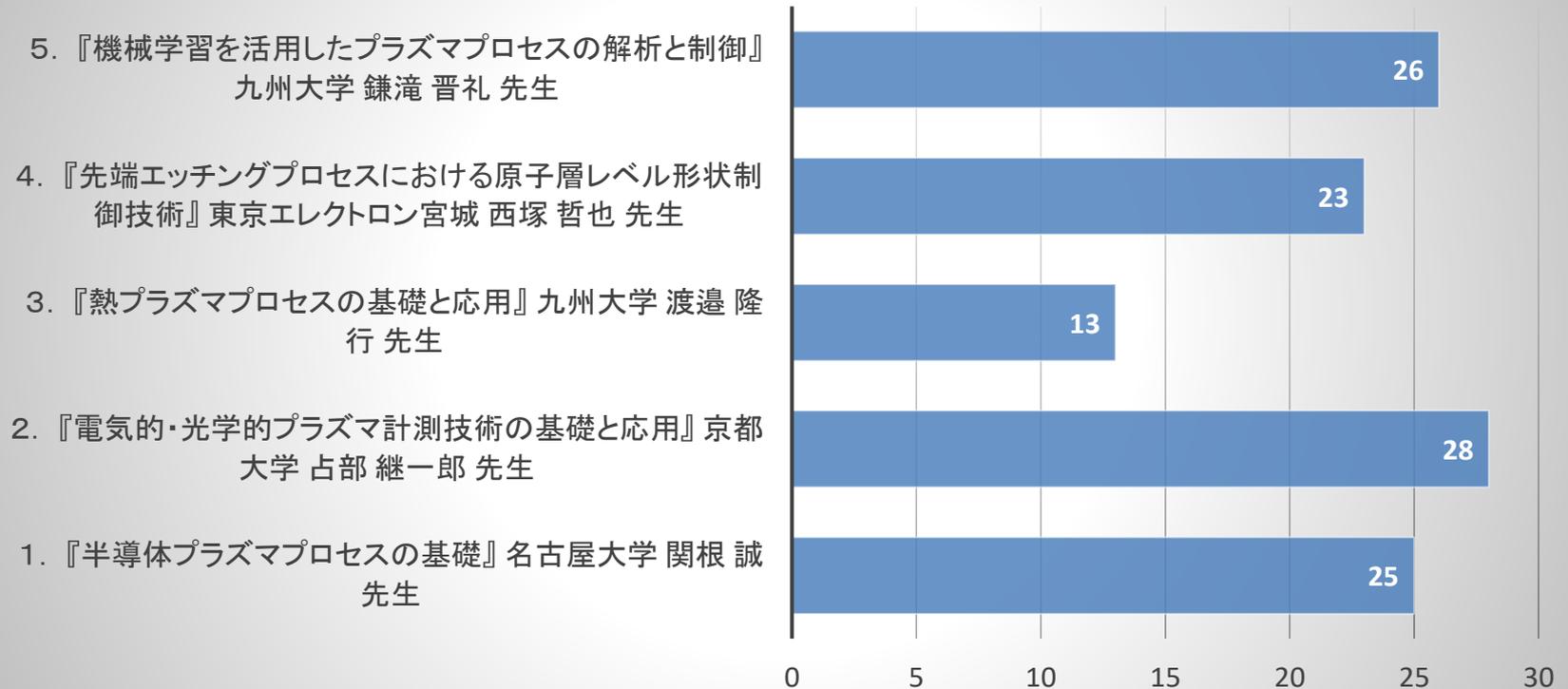


## トピックス

- 現地開催のみとしたせいか会場参加がオンラインを上回る。
- とはいえ、開催場所と都合の関係から50%がハイブリッドを希望する声があった。
- ハイブリッドは運営の負荷が増大するため要検討

# 興味深かった講義（複数回答）

講義内容評価



## トピックス

- プラズマの基礎的な部分やアプリケーションについて評価が高い。
- 熱プラズマの講義評価が他と比較して低めであった。  
→ 今回の参加者は低温プラズマを扱う企業の方が多かったことが要因か。

# 回答理由

ID	回答	所属
1	プラズマの基礎および今の応用技術の講演が聞いたこと	企業 (デバイスメーカ)
2	自分の業務に直結する内容であった	企業 (装置メーカ)
3	実務に関連しており参考になった。	公立研究機関
4	理解できる部分があったため。	企業 (装置メーカ)
5	現在の業務と関わりがありながらも、 学習する機会があまりなかったテーマだったため。	企業 (装置メーカ)
6	自分の研究に関連する話だったため	企業 (装置メーカ)
7	自分の研究テーマに関連が深い。	教職員
8	OESの取り扱いなどは自分も難しいと感じていた点が共有できた。	企業 (デバイスメーカ)
9	低温プラズマを扱っているエンジニアとして、 今後の業務に活かせる内容であったためです。	企業 (装置メーカ)

## トピックス

- 受講者の研究内容や業務内容に近いものは興味を抱きやすい。
- 開催地によって参加される企業の方の特性が変わるため、講義内容検討時に参考とする

# 次回以降取り上げてほしいテーマ

ID	回答	所属
1	単結晶SiO <sub>2</sub> のエッチングに関すること	企業 (デバイスメーカ)
2	機械学習 AI	企業 (装置メーカ)

## トピックス

- 多くの意見は頂けなかったが業務内容に近い講義が望まれている。
- 機械学習とプラズマに関するテーマは2年連続で取り上げており、昨今参加者の関心が高いと考えられる

# 運営へのコメント

ID	回答	所属
1	年末に近い時期の開催だったので、11月半ばの開催を希望しております。	教職員
2	タイムテーブルを事前に知りたいです。	公立研究機関
3	プログラムで、各講演の詳細な時間が分かると良いです。	教職員
4	こういった講演は狭く深い内容の方が関心を引くと考えた。	企業 (デバイスメーカ)
5	可能であればテキストは事前に郵送いただけると助かります。参加前に内容を確認して講義を聞けるとより踏み込んだ議論ができるように思いました。ぜひご検討いただければと思います。	企業 (装置メーカ)

## トピックス

- 開催時期やタイムテーブル等に対するコメントを頂く  
→来年度以降参考にしていきたい

# 来年度以降に向けて

## アンケート

有効回答数:32※終了後にQRコードを投影したため回答しにくかったかもしれない。  
次回は参加者にアンケート用紙を配布及びメールでアンケートURLを送付(後日リマインド)しておく方が回答数を増やせると思う。

## 参加者

- 東京開催ということもあり、関東及び東北の企業の方の参加が目立った。
- 当日は会議室一杯の大盛況。オンライン開催の声も一定数あるが、都心開催時は現地開催のみでも良いと考えらえる
- 講習会の内容は高評価
  - 参加が想定される分野に近いと高評価を得られやすい
  - 一方、敢えて異なる分野を含めることも知見を広める意味では重要

## 運営としての課題

- プログラムやテキストの事前共有
- 開催時期の選定
  - 例年11月半ば開催であったが、今回はDPSがあったため下旬に。  
最適な時期は引き続き考えていく必要がある。

